

進路便り

あ し た

明日へ

横浜市立深谷中学校

第3学年 進路便り No.32

令和3年1月21日(木)

進路担当 足立 玲子

本番に向けてしっかりと準備をしよう！

明日から、私立推薦入試・発表、月曜日は、私立一般出願日となっています。（この日以外の出願日の人もいます）入試で全力を出して悔いのない受験にするためにしっかりと準備・確認をしましょう。また、出願に行く場合も、出願の流れをしっかりと確認しましょう。

私立推薦受験・発表について

1. 受験の前日

- 1) 持ち物の確認は必ず前日におきましょう。

受験票・健康観察票など（高校が指定した書類）・マスク（予備も）・筆記用具・生徒手帳（身分証明書のため）・水筒・交通費・時計（計算機能がついていないもの）・ハンカチ・ティッシュ・上履き・お弁当（必要な人のみ）など。再度確認をし、カバンに入れましょう。

〔重要〕

※携帯電話やスマートフォン等の情報端末等は検査会場へ持ち込めません。

間違えて持って行かないように、保護者と確認しましょう。

- 2) 服装を整える準備をしましょう。服装は正装です。

男子はネクタイ忘れ、女子はスカートの丈に注意しましょう。

- 3) 早く起きるために早く寝ましょう。

前日は早く寝ることを心掛け睡眠不足にならないようにしましょう。

2. 受験の当日：入試の試験当日は、直接自宅から試験会場に向かいます。

- 1) 時間に余裕を持つために早く起きましょう。

① 健康観察（検温し、体調を整えましょう）健康観察カードの提出がある場合は、カードに記入し、捺印をする。（学校によっては、このカードを忘れると受検できません）

① 頭の回転をスムーズにするためにも、朝食をとりトイレをすませましょう。

② 前日に用意した標準服で身支度をし、身だしなみを整えましょう。

③ 前日に準備をした持ち物を、忘れ物がないか確認しましょう。

2) 緊張感を持って行動しましょう。

試験当日は、どこで高校の先生がチェックしているかわからないという緊張感をもちましょう。高等学校の最寄りの駅に着いたら、高等学校の先生が見守っていることもあります。

自宅を出発してから帰宅するまでが試験です。

【もしもの時の対応】

中学校は受験生から連絡があった場合、受験する高等学校に状況を連絡します。高等学校からの指示を受けて中学校から連絡をします。

《個人にトラブルが起きた場合》

[入試当日の朝、インフルエンザの罹患等、やむをえない状況が起きた場合]

・はじめに深谷中学校に電話をしてください。(中学校045-852-2888)

中学校から受験する高等学校に連絡を取ります。

・受験する高等学校によっては、別日で受験する場合があります。

[出発した後、受験票や上履きなどの忘れ物に気づいた場合]

・とにかく受験する高等学校へ向かいます。

・可能であれば、中学校に電話をしてください。(中学校に連絡できなかった時は、高校で受験票を忘れたことを申しでます。)

3年の先生に連絡を取って指示を受けましょう。3年の先生が学校で待機しています。

《公共機関でのトラブルが起きた場合》

[電車やバスの故障、大雪などにより交通機関がマヒして時間通りに到着できない等]

・トラブルが発生した場合には、慌てず落ち着いて受験する高等学校に向かうようにしてください。可能であれば中学校に電話をしてください。

3. 発表の日

(1) 掲示・手渡し

発表を見に行く人は、自宅から受験校へ行き、中学校に来て報告します。土日に発表がある場合は、翌日月曜日に、中学校に合格通知書を持ってきてください。

(2) 郵送・インターネット

郵送やインターネットでの発表がある人は、家で結果の通知を待ちます。

結果を確認し、中学校に報告します。(時間が午後4時を過ぎる場合や土日の場合は、翌日報告します) 中学校に合格通知書を持ってきてください。

(3) 発表が午後4時以降・郵送(当日発送)

入試の発表が午後4時を過ぎる場合(当日郵送で結果を発送する場合も含む)は、翌日に報告します。中学校に合格通知書を持ってきてください。

その場合、あらかじめ、わかっている人は担任の先生に発表日や方法を必ず事前に伝えてください。

私立一般出願について

☆インターネット出願・郵送出願の場合

インターネット出願は、学校によって事前に出願情報を入力後受験料の支払いが済んで書類が整う場合と、1月25日から出願情報を入力し、受験料を支払う場合があります。募集要項をよく確認し、書類が整ってから登校し先生に確認してもらい出願しましょう。

- ① インターネットで必要な書類と郵送用料金（簡易書留）を整えてから、中学校に登校する。
必要な書類は、募集要項で確認すること。（必要な書類の中には、返信用封筒（切手を貼る）などがある場合もあります。）
- ② 朝、先生から必要な書類（調査書など）を受け取り、再度出願の書類を確認して出願用の封筒に厳封して郵便局に出発する。

調査書は親展扱いで、封筒に入っています。（親展というのは、受取人以外は開けられないという意味です）勝手に開けると受け付けてもらえません。絶対に開封や紛失をしないよう注意しましょう。
- ③ 郵便局に行き、簡易書留により各自で郵送する。
- ④ そのまま中学校に戻り、カウンセラー室で報告した後、下校する。

※郵送出願に使う封筒は、指定のものがついている学校と自分で用意する学校があるので確かめましょう。

☆窓口出願の場合

1. 出願前日しておくこと

- ア 出願書類の確認（願書・振込証明もしくは受験料・写真など）
※調査書は出願日の朝、渡します。
- イ 高校までの経路（中学校から）・交通機関の確認
- ウ 交通費の確認・準備 ※交通費+緊急時の予備費

2. 出願当日 朝の行動

- ① 余裕をもって登校し、再度持ち物を確認する。
（出願書類、服装、受験料、経路、交通費、生徒手帳など確認する）
- ② 朝学活時、出願の注意をよく聞き、担任の先生から必要な書類（調査書など）を受け取る。
- ③ 持ち物を再度確認（交通費+予備費）して正装で高校に出発する。

3. 高校に到着したら

- ① 掲示により受付場所（多くの場合正面玄関）を確認する。
- ② 担当の先生に、出願に来たこと、学校名（横浜市立深谷中学校）、名前を告げ、出願書類一式を提出する。（受付では、コート、マフラー、手袋をとりましょう）
- ③ 受験票と受領書（渡されない場合もある）を受け取る→すぐにカバンにしまう。
- ④ 出願に関する掲示を再度確認し、高校を出る。

⑤ 寄り道をせずに中学校に戻る。

4. 中学校に戻ってきたら

- ① 報告場所：カウンセラー室：廊下で荷物を置き、服装を整えて、報告。
- ② 受験票・受領書を出し、先生に渡す ※その他渡された書類等あれば一緒に出す。
- ③ 受験票を返してもらい、下校する。

☆次のような場合は…

ア 体調不良により出願にいけない。

→出願期間が残っている場合は、後日出願します。

→出願期間が残っていない場合は、家族の方に代理で出願してもらいます。

(本人が出願することになっている場合は、中学校から高校に電話連絡します。)

※ いずれの場合も、行けないことがはっきりした段階で担任の先生に報告すること。

イ トラブルに巻き込まれた。

→連絡を入れられる状況であれば、まず中学校に電話します。

深谷中学校 045(852)2888

その上で先生の指示を仰ぎます。

→付近に公共機関(駅・交番・警察・役所など)があったら状況を話して、救援を要請します。

→上記以外の状況では、近くの大人に助けを求めます。

*出願チェック項目！

- () 必要書類はすべてそろっているか。
- () 提出書類に記入漏れはないか。
- () 受験料は直接の現金払いか、銀行振り込みか。振り込みの場合は、振り込み証が願書にはってあるか。
- () 返信用封筒がある場合には、切手や住所氏名が整っているか。
- () 高校までの交通経路、交通機関は確認してあるか。
- () 高校までの往復交通費は、準備してあるか。
- () 万が一、学校に電話連絡できるように、生徒手帳や電話代はあるか。
- () 服装、髪型など整っているか。